



GOOD
DESIGN

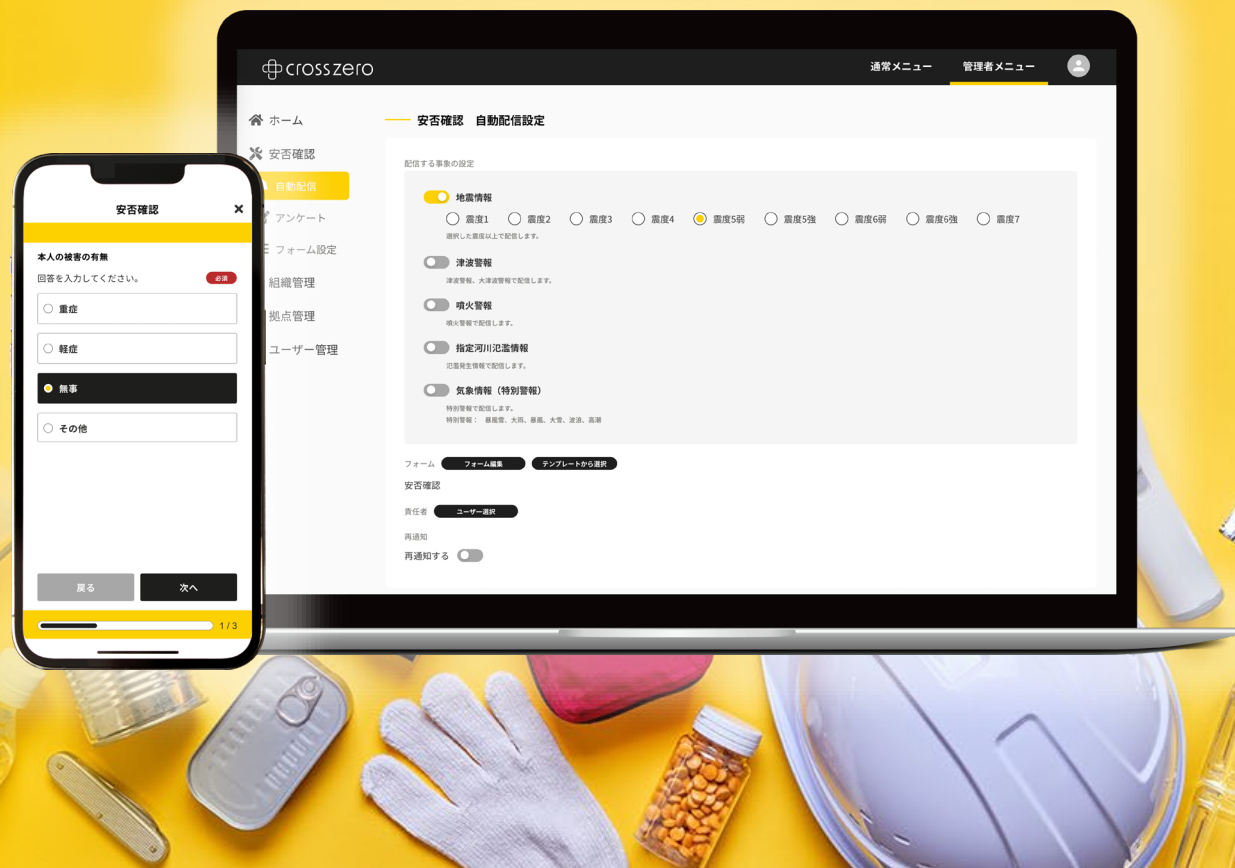


PHASE
FREE

総合防災アプリ クロスゼロ for ビジネス

サービス資料

災害から大切な社員を守り、
事業を継続する。



① 備蓄管理

- ・ 備蓄品の管理が煩雑になっている
- ・ 備蓄品をExcelで管理している



② 情報共有

- ・ 個人のスマホ（LINE等）で情報共有している
- ・ 緊急時のマニュアルやシフト表を共有したい

③ 防災訓練

- ・ 形式的な防災訓練になっている



④ BCPマニュアルの活用

- ・ BCPマニュアルは策定したが、実際の運用に活かしていない



これらの課題は、**総合防災アプリ「クロスゼロ」**が解決します！

クロスゼロは、日常から災害時まで、安否確認・避難行動・情報共有を1つで支える防災アプリです。
介護・福祉事業所や施設の具体的な計画の策定を支援します。

● 安否確認・連絡（チャット）ツール

災害時の安否確認はもちろん、日常のツールとしても活用いただけます。



● BCPマニュアルの社内共有

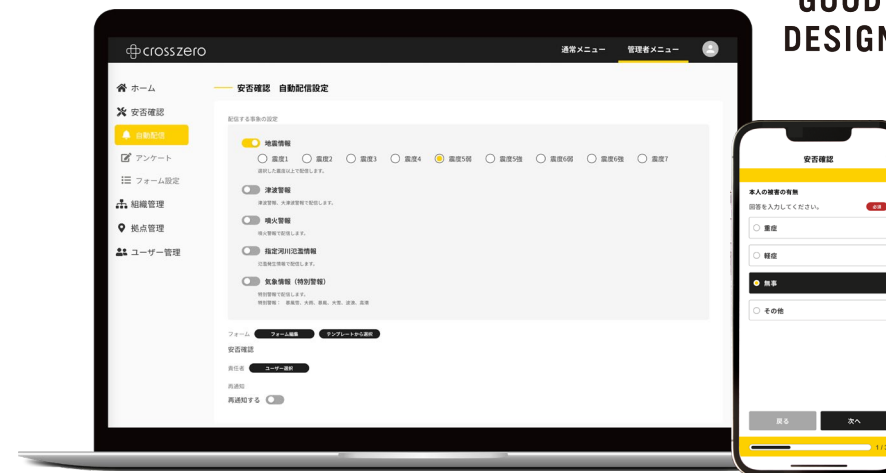
いつでも**緊急時のシフト表**や社内マニュアルを確認できます。

● 送迎中の災害にも対応

最寄りの避難場所や災害警戒区域を確認でき、迅速に行動できます。



災害から大切な社員を守り、
事業を継続する。



[課題 ①] 備蓄品の管理が煩雑になっている

事業拠点ごとに備蓄品を管理でき、**賞味期限/消費期限**が近づくとプッシュ通知でお知らせします。
フードロスを防ぎながら、効率的な備蓄の入れ替えが可能です。

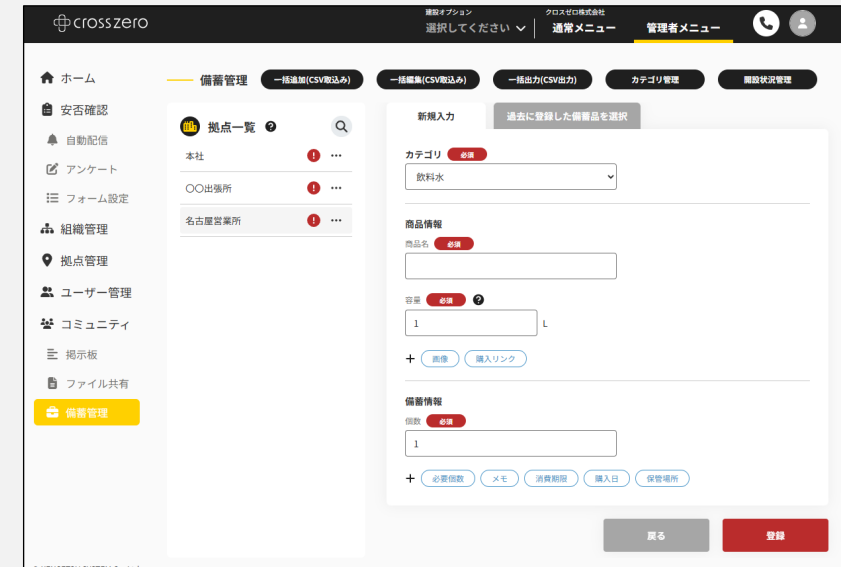
備蓄管理機能

備蓄品は、災害想定日数、人数などを設定することができ、設定値によって現在の備蓄量の過不足がわかります。また、備蓄品ごとに賞味期限/消費期限の管理もできるため、期限が近づいた際にプッシュ通知が届き、備蓄品の入れ替えに活用いただけます。

マスクや医療器具などの消耗品等、備蓄品以外のアイテムの在庫を管理することもできます。



備蓄管理（アプリ）



備蓄管理（PC：ウェブブラウザ）

【課題 ②】 個人のスマホ（LINE等）で情報共有している

チャット機能が実装されているので、**仕事とプライベートの情報（連絡）をすみ分け**できます。
災害時の情報伝達から、**日常の業務連絡**まで幅広くご利用いただけます。

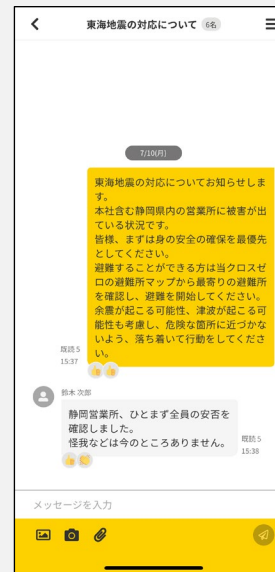
チャット機能/ファイル共有機能

チャット機能は、個別チャットはもちろん、メンバーを複数指定したグループチャットもできます。

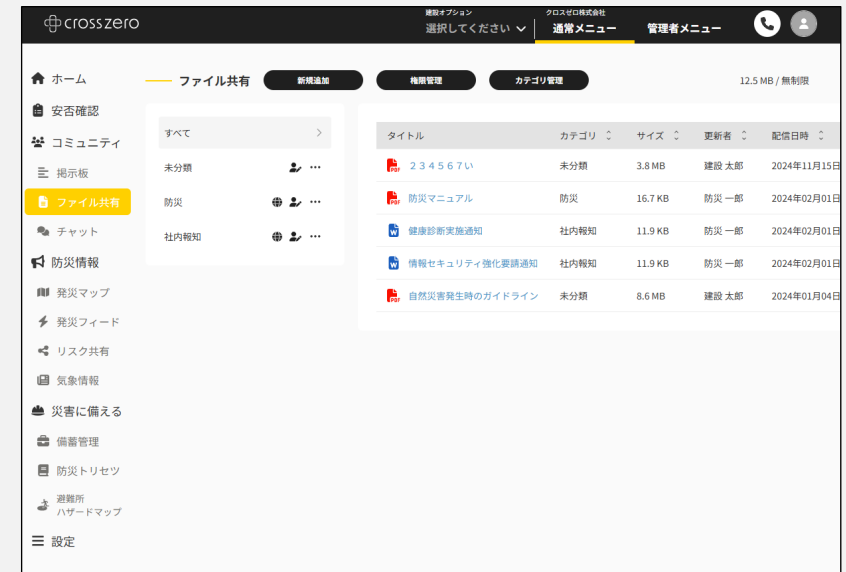
チャットルームを作成できる権限を設定できるので、チャットルームの乱立や情報漏洩を防げます。

ファイル共有機能は、PDFやExcel など各種ファイルを組織全体で共有できます。

BCP関連の書類や緊急連絡網、**緊急時のシフト表**も共有することができます。



チャット（アプリ）



ファイル共有（PC：ウェブブラウザ）

クロスゼロの「チャット機能」が以下に該当します。

生産性向上推進体制加算とは、労働環境・処遇の改善などを目的として2024年度の介護報酬改定で新設された制度です。
加算（Ⅰ）と加算（Ⅱ）の区分があり、加算（Ⅰ）は月100単位、加算（Ⅱ）は月10単位を算定できます。
加算（Ⅱ）を取得したのちに、加算（Ⅰ）の取得を目指す流れが一般的です。

加算を取得するには、以下のすべての要件を満たす必要があります。

生産性向上
推進体制加算
(Ⅱ)の要件

- ① 利用者の安全や介護サービスの質の確保、職員の負担軽減に向けた委員会の開催や安全対策を実施する
- ② 1つ以上のテクノロジー機器を導入する
 - ① 見守り機器
 - ② インカム等、職員間の連絡調整の迅速化に資するICT機器
 - ③ 介護記録作成の効率化に資するICT機器
- ③ 生産性向上ガイドラインにもとづいた業務改善をする
- ④ 事業年度ごとに実績データを厚生労働省に提出する

ビジネス用の
チャットツール
を含む



[課題 ③] 形式的な防災訓練になっている

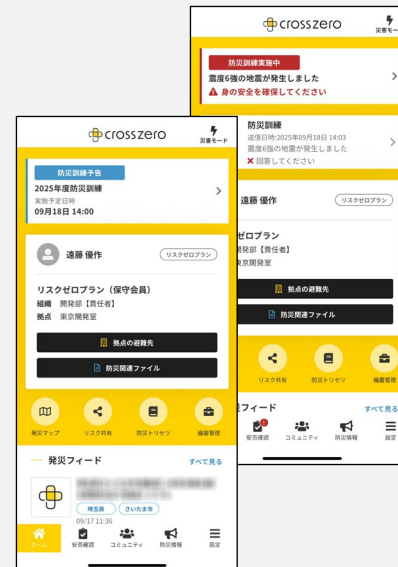
防災訓練（安否確認）の事前予告することで、職員に積極的な防災訓練への参加を促します。
多くの職員が参加して、**災害時を想定した訓練やシミュレーション**を実施しましょう。

防災訓練予告～安否確認の自動配信

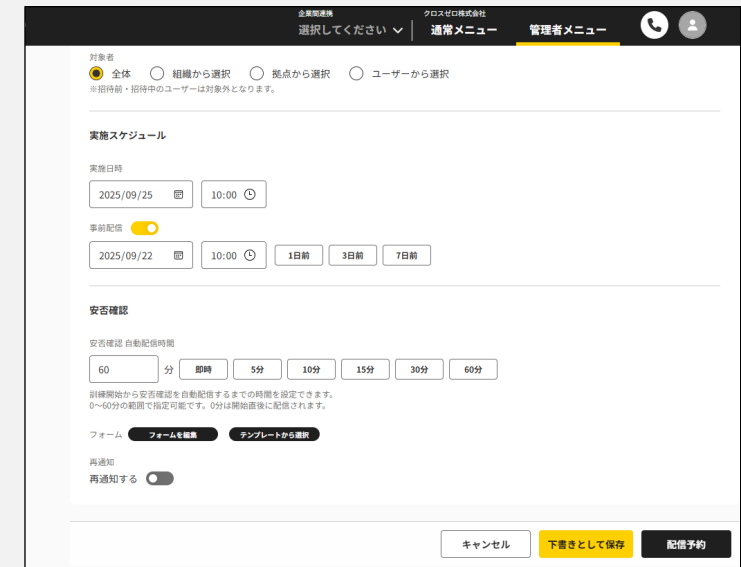
防災訓練の予告配信や訓練開始時の通知は、**指定した日時を設定することで自動配信**され、スマホのプッシュ通知で防災訓練の対象者に案内が届きます。

また、**安否確認の配信も指定した時間に通知**され、安否確認の集計結果を閲覧するまでの一連の流れを確認することができます。

安否確認の自動配信は、訓練開始後の即時配信から最大60分後の配信までを設定できます。



訓練予告/訓練実施中（アプリ）



配信設定画面（PC：ウェブブラウザ）

[課題 ④] BCPマニュアルは策定したが、実際の運用に活かしていない

防災訓練機能を活用して、**定期的な訓練に加え、抜き打ち訓練**も行い、緊急時に備えましょう。
安否確認がスマホに通知されるので、**社外にいても防災訓練に参加**できます。

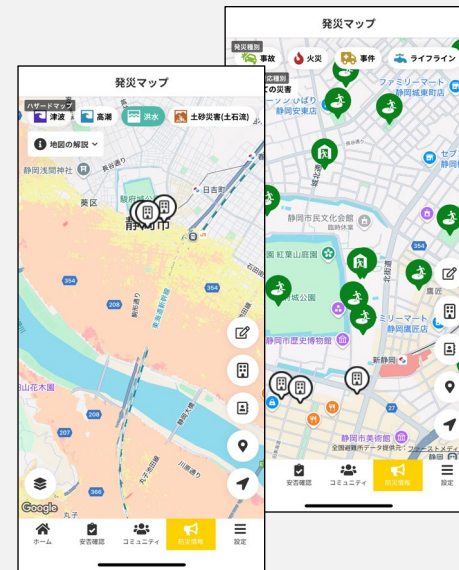
防災訓練機能を活用した訓練の流れ

- ① 防災訓練の事前予告配信
- ② 防災訓練（本番）の開始案内
- ③ 安否確認の配信
- ④ 安否確認の結果確認
- ⑤ 共有ファイルの確認（BCP関連書類など）
- ⑥ ハザードマップの確認（スマホで確認）
- ⑦ 避難所、避難経路の確認（避難先の登録）

防災訓練の結果をもとにBCPマニュアルを更新することで、実効性のある対策を確立できます。



事前予告配信



ハザードマップ・避難所の確認



避難経路の確認

業務継続計画が未策定の事業所は、基本報酬が「減算」されます。

施設・居住系サービス

所定の単位数の100分の3に相当する単位数を減算

その他のサービス

所定の単位数の100分の1に相当する単位数を減算

※平成18年度に施設・居住系サービスに身体拘束廃止未実施減算を導入した際は、5単位/日減算であったが、各サービス毎に基本サービス費や算定方式が異なることを踏まえ、定率で設定。

なお、その他サービスは、所定単位数から平均して7単位程度/（日・回）の減算となる。

※「令和6年度介護報酬改定における改定事項について」厚生労働省老健局 令和6年1月22日発行（p48）参照



プラン別：機能比較表

区分	機能	ベーシックプラン	BCP対策プラン	リスクゼロプラン
安否確認	自動配信・集計表・プッシュ/メール通知	●	●	●
アンケート	自動/予約配信・集計表・プッシュ/メール通知	●	●	●
防災訓練	事前予告配信・安否確認・避難先の登録		●	●
災害モード	災害モードへの自動切り替え	●	●	●
防災・備災情報	A I 収集リスク情報			●
	渋滞情報・避難所マップ・ハザードマップ		●	●
	気象庁フィード	●	●	●
	防災トリセツ	●	●	●
リスク共有	リスクの投稿（組織内公開）			●
	リスクの投稿（一般公開）	●	●	●
	リスク共有情報	●	●	●

プラン別：機能比較表

区分	機能	ベーシックプラン	BCP対策プラン	リスクゼロプラン
掲示板	掲示板作成	5 個まで	無制限	無制限
	メンバー管理	●	●	●
	ファイル添付/画像添付		●	●
	投稿へのリアクション	●	●	●
チャット	個別チャット/グループチャット		●	●
ファイル共有	ファイル共有・管理	500MBまで	無制限	無制限
備蓄管理	拠点ごと	●	●	●
	家庭		●	●
緊急連絡先	拠点ごと/マップ表示		●	●
マップカスタマイズ	登録地点や避難所へのルート検索（Googleマップ）		●	●
	マッピング（ピン・直線・エリア）			●
企業間連携	企業間の掲示板共有、グループチャット		●	●
家族向け機能 （上限8名）	安否確認・チャット・位置情報・バッテリー残量共有		●	●

導入時（初期設定～運用開始）

- オンラインサポート（有償）
 - ・ ユーザー登録
 - ・ その他お客様のご要望に合わせた設定
 - ・ 導入指導（操作レクチャー）

登録する職員の氏名・メールアドレス（CSVファイル等）をご用意ください。

運用開始後

- 電話サポート（フリーダイヤル）
- メールサポート



● 特別養護老人ホーム はまなす苑

[会社規模：51～100名]

BCP対策プラン



導入背景

課題

- ① 災害時の連絡方法が一斉メール送信なので安否確認はもちろん、見てもらえたかの把握ができない
- ② 業務連絡は個人携帯で無料チャットアプリを使用していた
- ③ 津波の警報発令時、避難場所を伝えることができず社員寮まで迎えに行った

効果

- ① 業務用チャットアプリとして普段から安心して使用できるようになった
- ② 安否確認を即時に送れて回答・集計結果を確認できる仕組みが整った
- ③ 緊急避難場所をアプリで共有できるので迅速な指示が出せるようになった

詳細はこちらから

KENTEM



KENTEMは「リスクゼロ社会へ」というビジョンを掲げ
災害で失われてしまう命を、ITの力で限りなく「ゼロ」に近づけるため
総合防災アプリ「クロスゼロ」を展開しています。

社名	株式会社建設システム（KENTEM）Kensetsu System Co., Ltd.
設立年月日	1992年7月2日
本社所在地	〒417-0862 静岡県富士市石坂312-1
代表番号	0570-200-787
代表者	代表取締役社長 重森 渉
資本金	4,000万円
主な事業内容	建設業向け施工管理ソフトウェアの開発・販売
グループ会社	PT. KENTEM INTERNATIONAL INDONESIA（建設業向け ICTツール販売事業） 株式会社ウィズテック（SES、プログラミング教育事業） 株式会社KENTEM LABO（3Dモデル・点群アプリの開発事業） Vitalify Asia Co.,Ltd.（オフショアラボ型開発、自社製品開発、ベトナム拠点開設支援）
従業員数	563名 / 男379名・女184名（パート・契約社員20名を含む） ※2025年9月時点
コーポレートサイト	https://www.kentem.jp/

製品の詳細は、こちらから

 製品サイト

30日間無料体験はこちらから

 無料体験

無料デモ依頼はこちらから

 デモ依頼

ご不明点などあれば、お気軽にお問い合わせください

専用フォームでのお問い合わせ

 お問い合わせ

お問い合わせ・お見積もり・デモ依頼

お電話でのお問い合わせ

 0120-42-3310

受付時間 月～金曜日 9:00～12:00、13:00～17:00
※ 祝日は除く

